

# Port of Hachinohe

No. 6  
Sep 2002

---Maritime & Trade Report---

- 八戸港サマーインポートフェア2002 開催
- 八戸港コンテナ輸送トライアル補助金制度好評実施中
- AOMORI BOEKI FAIR 2002 開催
- 『みなとの見学会』行われる
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 青森県輸入住宅促進協議会ニューズレター

## 八戸港サマーインポートフェア2002開催

去る7月27日(土)・28日(日)、「八戸港サマーインポートフェア2002」が国際貿易港のシンボルエリアであるポートアイランドで開催されました。

フェアは八戸商工会議所、日本貿易振興会青森貿易情報センター、八戸港振興協会、八戸国際交流協会、(株)八戸港貿易センター、八戸港国際物流拠点化推進協議会の六団体が構成する実行委員会主催によるものです。

八戸港は平成8年に国の輸入促進地域 (FAZ) の指定を受け、昨年まで5年間、青森県・八戸市・日本貿易振興会青森貿易センターで開催してきた「輸入品展示商談会」の終了に伴い、それを引き継ぐ形で開催されました。

国土交通省監督測量船「ほくと」や海上保安庁巡視船「しもきた」の体験航海、定期コンテナ航路を開設している東南アジア諸国や北米などの輸入品展示即売、世界のグルメコーナー、フリーマーケットなど多彩なイベントを通して、輸入促進のPR、港湾・海の普及活動が行われました。親子連れなど二日間でおよそ一万人の来場者があり、大盛況に終わりました。



オープニングセレモニーにおけるテープカット



# 八戸港サマーインポートフェア2002

## インポートグッズ販売

カナダ・インドネシア・フィリピン・ミャンマー・中国等から輸入された雑貨や衣料、アクセサリが展示即売されました。



## 世界のグルメコーナー

屋外では、ベトナムの生春巻などのアジア料理のほか様々な料理を楽しんでいました。



## ジェトロ輸入品展示コーナー

八戸港と姉妹港であるマニラ港のあるフィリピンの品物が多数展示されました。中でもバックは大好評で、素敵なデザインに女性のお客様が手にとって眺めていました。



## 「海と港とはちのへ」コーナー

国土交通省八戸港湾空港工事事務所、八戸海上保安部、八戸税関事務所、八戸港国際物流拠点化推進協議会、東北新幹線、アジア冬季競技大会青森2003、八戸の国際交流、青森県輸入住宅促進協議会などの紹介コーナーもありました。八戸海上保安本部の制服体験コーナーでは子どもから大人まで制服を着て記念写真を撮っていました。また、アジア冬季競技大会青森2003のマスコットであるウイン太が登場したりと、来場の子どもから大人まで大喜びでした。



## 交流・イベントゾーン

フリーマーケットは最大30店舗が、飲食コーナーは緑日風な6店舗のお店が軒を連ね大勢の見物客でにぎわっていました。



すっかり八戸でおなじみとなりました「はちのへYOSAKOI」。パワフルで八戸にぴったりの踊りです。平均年齢70歳以上とか…!?



八千草会



リズム鳴子会



ジャズB



BON アフリカ ジャンベ

軽妙なジャズや、不思議なアフリカ音楽が流れる中、ビール片手に見物客は楽しんでいました。

## 中古車ゾーン

約500台の車をそろえた輸入車・中古車ゾーン



## 海洋少年団のこどもたちによる「手旗信号実演」

手旗でメッセージが伝えられるってすごいですね。



## 海上保安庁巡視船体験 航海・一般公開 八戸港親子みなと見学会

海上保安庁巡視船「しもきた」、国土交通省監督測量船「ほくと」の体験航海は乗船希望のお客様が非常に多く、倍率の高い抽選となりました。めでたく当選された皆様、いかがだったでしょうか？



## 個人輸入セミナー 「初心者のための個人輸入」

年々個人輸入への関心が高まる中、(株)ジャンヌマリー 古賀亜紀子講師を招き大勢の参加者が真剣な眼差しでメモを取っていました。



## 「八戸港コンテナ輸送トライアル補助金」制度好評実施中!!

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、今年度より八戸港コンテナ輸送トライアル補助金制度を実施しております。この補助金は、八戸港を利用したことのない企業・個人に対して、八戸港に就航する外貿コンテナ定期航路を利用して輸出入を行った際に助成するも

のです。8月末までに既に20件の申請を頂いております。

これを機に、たくさんの方々に八戸港を利用していただき、八戸港の利便性を実感していただきたいと思っております。是非、本制度をご活用ください。

### 補助金交付対象者

国内に1年以上事業所を有し、平成12年4月1日から平成14年3月31日までの間に八戸港外貿コンテナ定期航路を利用されたことのない企業様（若しくは個人経営者様）。

### 補助金額

船荷証券（B/L）一件につき5万円で一荷主あたり3回まで利用できます。

### ご利用にあたって

- ・同補助金制度利用者は協議会の他の補助金制度を同時に利用することはできません。（八戸港コンテナ共同輸送事業による輸出入は補助の対象になりません）
  - ・補助金は、海貨業者を通じて仮予約を行ったうえ、ご利用ください。
  - ・予算の範囲内での補助となりますので件数に限りがございます。
- お早めにお申込みください。

### ■お問い合わせ先

八戸市経済部産業推進課 貿易振興対策室内 八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局  
TEL 0178-43-2111（内線 308・609）

## 「八戸港セミナーin青森」盛況に終わる

八戸港国際物流拠点化推進協議会主催による「八戸港セミナーin青森」が、平成14年7月5日（金）、青森市のホテル青森で開催されました。

セミナーには船社、企業関係者などおよそ70名が出席しました。青森公立大学助教授、丹野大氏により「地方における国際貿易の現状を打開するために」と題して講演が行われました。講演の中では、「消費者が望む物を提供することの大切さ」を訴え、「りんご、ホタ

テ貝、イカが有望だが徹底した市場調査と適切な価格設定が必要」と強調されました。

また、青森県県土整備部港湾空港課副参事、横山哲雄氏より、八戸港の概要、国内輸送コストを削減できるメリットや、本年度創設した「八戸港コンテナ輸送トライアル補助金制度」について説明がされました。セミナー終了後企業情報交換会が行われ、活発な意見交換が行われていました。



# 「AOMORI BOEKI FAIR 2002」開催

今年度、ジェトロの採択により実施する、青森県とタイ・バンコクのローカル・トゥ・ローカル産業交流事業（LL事業）の一環として、青森市の「ラ・プラス

青い森」（旧 八甲荘）において、「AOMORI BOEKI FAIR（青森貿易フェア）2002」が開催されます。この機会に是非ご来場ください。

- 会期 平成14年9月27日（金）～9月28日（土） 2日間
- 会場 ラ・プラス青い森（青森市中央1-11-18 電話017-734-4371）
- 内容  
9月27日（金）  
ジェトロ・アジア雑貨展示商談会／輸入品展示即売会／アセアンセミナー（ジェトロ、中小企業総合事業団）／タイ大国貿易セミナー／タイ招聘者個別商談会／青森港セミナー  
9月28日（土）  
ジェトロ・アジア雑貨展示商談会／輸入品展示即売会／タイ招聘者個別商談会／貿易決済無料相談コーナー／通関・輸送無料相談コーナー／輸入食料品等展示即売会
- お問合せ先  
青森県商工観光労働部 商工政策課 物産・貿易振興室（電話017-734-9370）

## みなとの見学会行われる

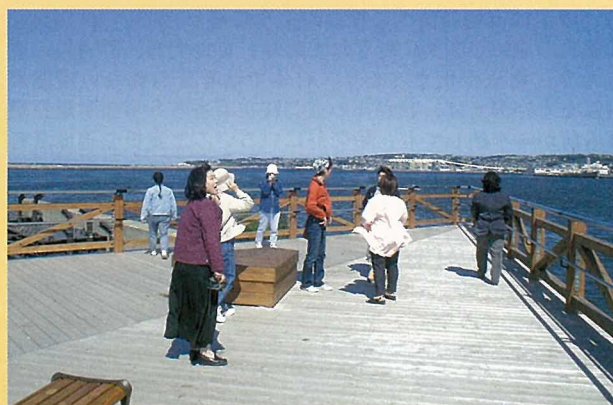
6月26日、「はちのへみなとまちづくり市民フォーラム」の13名の皆さんが八戸港周辺の施設を見学しました。

この「はちのへみなとまちづくり市民フォーラム」は海やみなとに関心のある市民によって組織され、行政機関や企業等とパートナーシップをとりながら、みなとについて学習すると共に、市民の視点に立ったみなとまちづくりの実現を目指す市民団体で、今回の見学会はフォーラムの要請を受けて市が開催したものです。

午前中は東北地方整備局八戸港湾空港工事事務所のご協力を頂き、監督測量船「ほくと」からの海上見学を行い、午後からは八戸港周辺の施設をバスで回って見学して頂きました。

参加された皆さんからは、「こうしてじっくり八戸港を見たのは初めて。八戸にもこんないい場所があるんだと驚いた。」というご意見の他、「緑地を整備する時には実際に利用する市民の意見も聞いて欲しい。」「こんなにいい場所があるのに、あまり知られていないのはもったいない。八戸港の事についてもっと市民にアピールする必要がある。」といったご意見も頂きました。

今回の見学会は参加された皆さんには大変有意義な見学会となりました。今後も行政と市民が連携し、地域が主役となるみなとまちづくりに取り組むよう、努力して参ります。



# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2002年9月現在、海外在住（タコマ、香港、マニラ、シンガポール、ワシントンD.C.）の5名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂くことになっています。

八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていますので、ご希望の方は八戸市経済部産業推進課（TEL0178-43-2111）までご連絡ください。

## REPORT1

## 香港の紹介 Hong Kong



ヤンマーエンジニアリング㈱香港事務所 東莞にある日系電子部品工場  
所長  
原子 司さん

“支払いは人民元でお願いできませんか？人民元ならすぐにでもお支払いするんですが。”東莞（トングァン）の日系企業を訪問した際によく聞かれる質問です。

東莞は中国広東省のほぼ真中に位置しており、香港からは直通電車で約1時間。日系大手電機関連会社、及び関連の子会社を合わせると300社以上がこの地区に進出しており、その他台湾、韓国の会社も多く、今ではこの地区は世界のIT工場とまで呼ばれています。秋田県小坂町に本社のある十和田オーディオ株の現地企業は、古くからこの地区に進出しています。

特にここ2～3年は製造業の中国進出がいやと言うほど新聞紙上を賑わせていますが、簡単に言うならば、そのカラクリはこうなっています。進出企業の規模および進出場所により条件は違いますが、進出にあたって、まずその地区の市、郷、鎮に接触します、そこで開発担当者との交渉を通して、有利な条件を引き出します、例えば土地、建物は役所負担でかつ所得税は3年間据え置きなど、魅力的な条件が提示されます。

しかし中国側からみれば、運悪くその企業が廃業となっても、施設は残るわけで、また企業が収益を上げた場合、そこから入る税は中国の諸物価からみたら莫大な金額となるわけで、土地、建物の費用位は大したことがなくなるわけです。

また、日本人駐在員が個人で支払う所得税も、ほとんど税金を払わない一般中国人に比べたら大きな魅力になります。工場従業員の月あたりの費用は、給与、衣食住、諸費用含めても日本円で20,000円。またスタッフ、通訳の場合で40,000～70,000円位でしょうか。人手を要する工場の場合、このような条件は非常に魅力的になります。

ただし、中国は市場経済への転換が完全に終わっていないため、政策、法解釈の違いが頻繁に行われており、また突然、特別税の要求があったり、物流が止まったり、日本では考えられない事態が多々発生します。例えば、我が社の東莞駐在事務所も事務所延長登録を半年も前から申請しても、締切前にいろいろと変更や追加資料の提出を求められ、何度も役所に足を運び、その度に担当者が不在であるとか、字が小さいなどのことを言われ、結局申請が了承されたのが、期限を半年も過ぎたところで、かつ罰金まで徴収されることになるなど、理不尽な話しは日常茶飯事です。

しかし、月に2～3回は中国に出張しますが、香港の雑踏から離れ、中国に入国すると何とも言えず落ち着いた気分になります（本当は初めのうちは、少し恐ろしい感じがするのですが）。香港は今では物価が世界一高い国となりましたが、1時間電車に乗ると、信じられないほど安い物価の国ですから、ほとんどブラックジョークの世界です。週末にもなると香港人が大挙して中国へ向かうのも当たり前前の話です。

逆に香港が中国へ返還されたころは、中国人もまず行って見たいところは香港でしたが、規制が厳しくなかなか香港に来られなかったのが、今では香港政府が中国人の香港観光入国を規制緩和して奨励しています。

中国もWTO加盟、2008年オリンピック開催、そして2010年上海万博（未定）と国際的行事が目白押しとなっており、国中で建設ラッシュとなっています。1960年から70年代にかけての日本の状況とよく似ています。しかし大きな違いは、中国が共産国であるということです。タイトルから脱線してしまいましたので、今回はここまでとします。

もし、香港へ観光で来られることがありましたら、少し足をのばしてお隣中国を訪れて、その落差を経験してみてください。



東莞の街並み



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所（米国ワシントン州）  
マネージャー ゲーリー・ブラケット さん



一年でこんなにも変わるものでしょうか。  
タコマ・ピアス郡の経済指標によると経済指標によると2001年はたくましい経済成長で景気拡大期間を連続41四半期まで延ばすであろうと予測されていました。実際連続39四半期まででしたが、それでも、これまでの記録である連続22四半期の約2倍の記録です。

とはいえ、5四半期後戻しとなった1980年のときや一年分の経済成長分を失った1991年と比べてみても2年分の経済成長を後戻ししてしまい、現在の不景気は最近2回の景気後退よりも長く、深刻なものであると予測されています。

天候不良によりタコマ経済に影響が大きい水力発電の電気供給が支障をきたしているほか、テクノロジー部門の不振や世界経済の停滞により貿易も伸びず、地域経済は大きなダメージを受けています。タコマピアス郡の成長は国内経済と深い関わりがあり、昨年9月11日のテロ攻撃による心理的ショックと経済の混乱は地域経済をも直撃しました。

しかし、地域経済において見通しの明るい部門もあります。代表的なものとして、タコマ港のすばらしい実績があげられます。タコマ港は2001年、132万274TEUを取り扱い、太平洋北西部で最大の取扱量を記録しました。

この記録は、全体のコンテナ取扱量4%減（前年比）という中での記録です。この国際貿易の衰退状況に反して、タコマ港はアラスカ貿易で前年比2.3%増という予想以上の記録を残しました。

タコマ港は地域、州経済にも貢献しています。タコマ港のウェブサイトを閲覧いただければタコマピアス郡やワシントン州に対する大きな経済貢献の事例を見ることができます。

タコマ港は、利用者のために鉄道、ドック、ターミナルヤードといった基盤設備の整備にも引き続き力を入れていきます（例えば、APMターミナル、マースク社がありますが、タコマ港湾局、マースクシーランド、CSXラインの管理部門は2002年1月25日に埠頭を延長しました）。

このことは埠頭を488mから671mへ183m伸ばし、埠頭における電気サービスの改良、最新の岸壁、陸上貨物のためのトラック輸送の改善といった6ヶ月にわたる計画を完成させたこととなります。そして忘れてならないのは、現在、埠頭は世界最大級の船を2台同時に接岸することができるようになりました。

住宅部門も地域経済、国内経済の中では好調です。低金利の継続がこのことに関して多くの信用を生むこととなり、不景気の中、この産業にとってはいい結果を生み出したビュージェット湾地域における'02年1月の住宅売上高は、前年比1.2%減少しましたが、ピアス、キング、サーストンの各都市においては上昇しました。全体的に住宅売上高はかなり高いものの、横這い状態です。

タコマピアス郡に立地するフォートルイス米軍基地はアメリカ西海岸にある主要基地で、新しい時代に見合う米軍を行うための変革取り組んでいます。国防総省は約8億ドルをより行動力のある、強力な軍隊をつくるために基地に投じました。既に2600万ドルが使われました。これは、米軍空軍がフォートルイスに隣接するマコード空軍基地に1億ドル投じて以来のことで、同基地には国の最新の貨物航空機であるC17を調達しました。今回のテロリズムに対する戦いはこの増強に拍車をかけたようです。そして、地元の経済開発局はこの軍事支出に係る民間セクターに併せて投資しようと考えているようです。

昨年はまた、多くのタコマ開発計画が完結した年でもありました。2001年末には、タコマ市議会で約900世帯を対象とする8つの計画に対する税の優遇に合意しました。この措置は民間の宅地造成業者の住宅供給計画実現のためにのみ実施されるものです。土地等に対しては通常課税されます。この計画で新しい開発に1億3千万ドルの予算が認められました。

多くの開発事業がスィーフォス運河での2億ドルほどの住宅・事業所開発事業です。タコマ市開発局管理者であるパートアルフォード氏はスィーフォス運河開発事業を15～20年の事業として分類し、1年で約10事業とみています。彼によれば最初の数年は、計画と環境整備に多くが費やされるであろうとみています。

他に好調な事業としてはワシントンタコマ大学での技術研究所や開発事業が挙げられます。完成すれば、3840万ドルをかけた二つの建物が、科学、技術の2分野を支援します。科学は主に環境科学を専門とし、技術方面では情報技術分野の学士号プログラムに向けられます。建築は4千万ドルを投じて今年始まりました。学生数も1990年の開校以来年間15%の割合で増えつづけ、現在2000人が在籍しています。

この不景気は2002年を通して続くと思われていますが、年末には収束するでしょう。タコマピアス郡の経済も2002年終りまでには2000年初頭の経済状態にまで回復していることでしょう。

（参考）タコマ商工会議所 <http://www.tacomachamber.org/>  
タコマ港湾局 <http://portoftacoma.com>

タコマ港で荷役する大型コンテナ船（後方レーニア山）



# 八戸港の貿易概況 (2002年1月～6月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階  
日本貿易振興会 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

## <概況>

輸出については船舶、フェロニッケル、鉄鋼製品等の好調で著増となり輸出総額は前年比137.5%。一方輸入は鉛鉱の全増、石炭、ウッドチップ等が貢献し前年比101.7%と微増だが輸出入額の合計では前年比110.8%でかなりの程度増となった。尚コンテナ分取扱実績は輸出がフェロニッケル、亜鉛塊、一般機械が大幅増となった。輸入は魚介類、飼料、雑貨等が順調に推移したがコンテナ通関本数については不調であった。

## ■ 1月～6月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

### 輸出

品名	単位	累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船舶	NO	4	6,867,718	100.0%	149.8%
フェロニッケル	MT	60,834	8,768,101	114.3%	117.1%
有機化学品	KG	657,880	426,525	69.0%	93.1%
紙製品	MT	2,588	240,080	70.6%	67.7%
一般機械	MT	1,876	398,312	248.1%	115.3%
鉄鋼製品	MT	22,052	629,236	240.1%	175.2%
飼料	MT	4,060	227,628	194.0%	199.3%
魚介類	MT	3,122	512,588	39.1%	45.4%
亜鉛塊	MT	6,589	674,225	134.4%	118.8%
その他			3,461,485		465.0%
計			22,205,898		137.5%

### 輸入

品名	単位	累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	402,394	6,701,881	100.6%	107.7%
とうもろこし	MT	382,655	5,610,454	98.3%	99.3%
ニッケル鉱	MT	1,291,505	4,513,383	104.3%	80.6%
木材	CM	62,137	1,476,542	72.3%	71.0%
亜鉛鉱	MT	77,820	1,884,816	104.9%	94.6%
大豆粕	MT	88,245	2,481,363	114.4%	106.7%
魚介類	MT	4,102	1,889,110	140.8%	127.0%
飼料	MT	87,065	1,368,554	104.7%	107.6%
石炭	MT	506,273	2,427,459	179.3%	195.4%
こうりゃん	MT	110,620	1,634,826	108.1%	110.0%
ウッドパルプ	MT	8,766	443,045	60.0%	47.9%
カオリン	MT	60,628	1,313,651	89.2%	93.9%
肥料	MT	7,845	209,302	52.8%	67.6%
重油等	KL	38,645	821,201	100.5%	90.9%
コークス等	MT	40,984	456,246	142.3%	140.2%
鉛鉱	MT	9,002	564,884	全増	全増
金属製品	MT	1,831	355,858	120.1%	125.4%
その他穀物	MT	12,710	220,385	83.5%	87.6%
糖蜜	MT	2,669	29,321	90.6%	110.6%
その他			14,171,232		101.5%
計			48,573,513		101.7%

### ●コンテナ取扱分実績 ( ) 内対前年比

輸出	110億3,072万円 (144.4%)
輸入	76億7,513万円 (114.1%)

### ●コンテナ貨物通関本数 ( ) 内対前年比

輸出	3,799 TEU (130.2%)
輸入	5,039 TEU (93.5%)
合計	合計 8,838 TEU (106.4%)

## アジア雑貨輸入 初心者向けセミナーとミニ・サンプル展

日本貿易振興会 (JETRO)  
青森貿易情報センター  
TEL 017-734-2575  
FAX 017-773-2877  
030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

ジェトロ青森では、アジア企業の雑貨ビジネスに関心のある方々を対象としたセミナーを開催いたします。また、ジェトロの専門家(大倉紀子)が見つめてきた東南アジア6カ国(タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、インドネシア、フィリピン)の雑貨約400点も同時にご紹介し、直接商談にも応じます。

雑貨の輸入を始めたい方、アジア雑貨ビジネスの今後の行方を知りたい方等のご参加をお待ちしております。

日時：2002年9月27日(金) 13:00～14:15  
会場：ラ・プラス青い森(旧称八甲荘) 2階メープル会場  
青森市中央1-11-18  
TEL017-734-4371  
主催：ジェトロ青森、青森県、青森市、青森市貿易振興会  
テーマ：「雑貨輸入のノウハウとアジア雑貨の動向を探る」  
講師：ジェトロ対日輸出専門家 大倉紀子  
(株)ジャンヌマリー 代表取締役

《併催セミナー》  
① 14:15～15:15  
「アセアン諸国の貿易事情について」  
② 15:25～16:40  
「タイ農水産物市場の現状と日本食市場の展望」

■お申し込み先  
ジェトロ青森  
TEL: 017-734-2575 Fax: 017-773-2877





AIRA 新会長より挨拶 齋藤 義則 (丸喜株式会社 齋藤組 専務取締役)



今般、工藤義弘会長より新会長の大役を引き継ぎました齋藤です。よろしくお申し上げます。  
設立以来5年目を迎えた当協議会は、昨年度までの「八戸」から「青森県」と名称変更し、新たな会の発展を期して会員の皆様や関連の皆様にも少しでも夢のあるものに、と考えています。  
もちろん、昨今の住宅業界の不景気や苦境を乗り越えるのは個々の企業努力によりますが、会として何かチャンスに結び付けられるような活動を模索しております。

今年度は、下記のセミナーを主催・後援することになりました。特に、北米住宅部材が必ずしも北米でなく、東南アジアや中国で加工輸出されていることが最近、分かりました。そこで、ジェトロ青森のご協力により、タイ・中国等の住宅産業に注目したセミナーを行うことにしました。また、年明けには現地見学のミッション実施も企画中です。

多数のご参加をお待ちしております。また、当AIRAへのご支援・ご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

住宅・建材カナディアンセミナーin青森

カナダの先進的な木造住宅の技術やデザイン、建材を、日本の住宅システムとの関連のもとご紹介するセミナーが開催されます。セミナーは2部構成で行われます。ご興味のある方は是非ご参加下さい。

日 程：「北米型木造建築デザインセミナー」  
2002年10月24日(木)13:30~17:00  
(受付13:00より)  
「カナダ2×4工法セミナー」  
2002年10月25日(金)10:00~17:00  
(受付9:30より)  
場 所：青森市文化会館(青森市堤町1-4-1)  
Tel: 017-773-7300  
主 催：カナダ大使館  
問合先：カナダ林産業審議会内CANPLY  
(担当：スコット・アンダーソン)  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門3-8-27  
虎ノ門アネックス2号館9F  
Tel: 03-5401-0531 Fax: 03-5401-0538

輸入住宅セミナーin八戸

現在、多くの注目を集め、輸入量も加率的に増加している中国・タイの住宅建材について紹介するセミナーが開催されます。低価格住宅への潮流・大手建材メーカーの中国進出、WTO加盟で大きく変わる中国ビジネスの情勢の中で、中国・タイの住宅建材の品質・コスト・デリバリーの実態、そして日本の建材事情にどのように変化を与えるかをご紹介します。是非、ご参加下さい。

日 程：2002年11月29日(金)PM1:30~PM3:15  
講 演：「東南アジア・中国の輸入住宅部材の現状と活用」(仮題)  
講 師：安田 聖氏(安田プロモーション 代表)  
主 催：ジェトロ青森貿易情報センター、青森県輸入住宅促進協議会  
場 所：八戸プラザホテル  
参加料：1,000円  
問合先：青森県輸入住宅促進協議会事務局

新着情報

- (財)製品輸入促進協会(ミプロ)ご自慢の輸入部材 紹介ページができました!  
www.mipro.or.jp/information/housing01.html
- 「米国ワシントン住宅産業情報」(2002年春 第12号)~日本のお客様とワシントン州を結ぶ日本語情報誌  
www.trade.wa.gov/jpn\_housing
- 「ワシントン州住宅産業企業案内」~対日輸出経験豊富な73社を掲載。  
(ともに発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局)
- 「あずまの家 CONTEST2001」第4回あおもり優良木造住宅コンテスト(発行：青森県県土整備部建築住宅課)  
www.pref.aomori.jp/kenchiku

AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市道道二丁目10-17	017-741-8451
有限会社ウッドベッカー	八戸市番町7	0178-46-4606
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
アテヒ設計建設株式会社	むつ市田名部品ノ木34-12	0175-23-5511
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331

Aomori Import Residence Association

AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内  
Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503  
www.hiha.jp

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
駒井建設株式会社	青森市小柳一丁目19-20	017-741-5167
株式会社テーオー小笠原	青森市東道道三丁目6-3	017-736-2000
株式会社東北産業	五戸町豊間内地蔵平1-865	0178-61-1100
株式会社ハンモットホーム	八戸市類家四丁目5-2	0178-71-1700
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
有限会社山広産業 住宅部	八戸市一番町一丁目2-22	0178-27-6570

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港、黄浦)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽)、中国(上海、青島) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	5	9
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャバン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

日本通運株式会社 八戸支店の紹介

所在地: 〒039-1102 八戸市一番町1丁目8-9

TEL(0178) 27-3311 FAX(0178) 27-5520

当社は昭和12年に設立され一般貨物自動車運送事業を主軸に通関業等を行い、現在に至っております。「QUICK & POWERFUL」をモットーに船舶、航空機、トラック、鉄道などの各種モードを有効に組み合わせながら、機動力・情報力・海外ネットワークを結集して多様化する国際物流に対応するサービスを行っております。尚国際宅配便(日通ジェットパック)やDOOR TO DOORでサービス可能な海外引越(日通ハートライナー)等オプションを多数揃えて皆様をお待ちしておりますので、是非、お気軽にお立ち寄り下さい。



編集後記

青森ねぶた・弘前ねぶた・八戸三社大祭、お祭りムード一杯の8月。いたるところでイベントがありましたが、この「八戸港サマーインポートフェア2002」に約1万人の集客があったことは驚きです。アツという間に夏が終わり県南地方にも秋の気配がしている今日この頃です。と、思いきや真夏日になったりよく分からない状態で体調を崩されない様ご自愛ください。

このフェアには、ほとんどの人が車で来ていました。ところで、車で夏の必需品と言えば「エアコン」。エアコンなしの車は、殆んどないというくらいに装備されていますが、エアコンを使うという事はバッテリーも消耗しているという事になるそうです。バッテリーが消耗すると、夜ライトが暗くなったり、エンジンがかかりにくかったり色々弊害がでますが、一番怖いのは、破裂する危険があります。

是非、秋を迎え、一度点検をしてみてもはどうでしょう。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL: 0178-29-0202 FAX: 0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL: 0178-29-3177 FAX: 0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL: 0178-20-2321 FAX: 0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL: 0178-28-2401 FAX: 0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL: 0178-52-7755 FAX: 0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL: 0178-27-3311 FAX: 0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL: 0178-20-1651 FAX: 0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会  
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業推進課内

TEL:0178-43-2111 (代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp